

ディスコン通信・彩の国

埼玉県ディスコン協会 会報 第6号

2025年（令和7年）9月発行

巻頭言（「85歳の壁」を想う）

埼玉県ディスコン協会 会長 山田 武

まずはじめに、シルバー川柳集から2句を抜粋します。

◆ 捜し物 やっと見つけて 置き忘れ ◆ 立ち上がり 用事忘れて また座る

高齢者が超える年齢の壁は、健康状況、生活環境、家族関係等々によりかなり個人差があります。去る7月、埼玉県レクリエーション協会主催の役員研修会に参加しましたが、そこでは、「平均寿命」（男性81.09歳、女性87.14歳）よりも、スポーツ、レクリエーションを通じて、体力、気力を向上させ「健康寿命」（男性72.57歳、女性75.45歳）を延伸させることが重要であり、そのためには筋力づくりとウォーキングが大事であるとの講義がありました。筋肉は使わないと直ぐに衰えますが、いくつになっても鍛えれば筋肉は復活できるそうです。

さて私は、舌癌と狭心症を乗り越え、長生きした両親の遺伝子のお陰もあり、昨年12月に85歳の壁を超えました。長年続けたソフトボールとゴルフは10年程前に止め、今ではディスコンと卓球の他、1日平均5千歩程度歩くことで、一応外見的には健康を維持しているように見えますが、日常生活には身体のあちこちに下記のような現象が起きており、「85歳の壁」を痛感しています。

- ① 冒頭に記載した川柳のように、物忘れが多発している。（人の名前も出てこないことも多い）
- ② 白内障による視力の低下（来年の運転免許更新が危ぶまれるので、それまでに手術する予定）
- ③ 耳が遠くなり、テレビの音量を上げている。
- ④ 奥歯が悪くなり、大好きなスルメとピーナツを食べられない。（舌癌の放射線治療の影響）
- ⑤ 膝痛と腰痛を緩和するため、1週間に1回整骨院に通っている。
- ⑥ 歩くのが遅くなった。
- ⑦ 夜間頻尿と就寝時のふくらはぎのツリ。
- ⑧ 車の車庫入れ、駐車等運転が下手になった。
- ⑨ 駅の階段はエスカレーターを利用し、電車のドアは優先席のところに乗る。

以上のような老化現象が多発していますが、内臓は至って丈夫なので毎日晚酌を嗜んでおり（缶ビールと芋焼酎）、仲間との飲み会には進んで参加しています。

2011年5月当協会の会長に就任以来、あっという間に14年が経過しました。この間、役員・会員の皆さまに支えられ、何とかその任務を果たしてまいりましたが、そろそろ楽をしたいと想う今日この頃です。

第11回全国ディスコン交流大会 in 滋賀

2025. 6. 14 (土) 10:00~16:00

滋賀県彦根市 プロシードアリーナ HIKONE

参加36チーム 1チーム6試合 15分7点先取制



埼玉 A チーム：松本、町田、山田

最終成績：1勝5敗 30位（飛賞受賞）

埼玉 B チーム：新井田弘、洋子、伊藤

最終成績：1勝3引分け2敗 25位（賞品なし）
（当協会ホームページより）

第11回全国ディスコン交流大会 in 滋賀に参加して

県協会理事 新井田 弘

令和7年6月14日（土）滋賀県彦根市プロシードアリーナ HIKONE を会場として第11回全国ディスコン交流大会が開催され、私共埼玉県からA・Bの2チーム（6名）が参加させて頂きました。旅行好きの私ですが、彦根地方には一度も行ったことが無く、折角の機会なので国宝彦根城だけは観光したいと思い、大会前日に妻（選手として参加）と共に他の参加メンバーより早く自宅を出発しました。当日は天気にも恵まれ、井伊家35万石の居城彦根城をじっくり拝観し、運良く城内でひこにゃんとも写真を撮ることができ大いに満喫しました。

その後、交流協議会の定期総会に参加させて頂き、懇親会の席で役員の方々の交流協議会に対する熱意ある言葉を拝聴し、私自身今後の協議会発展に少しでも貢献出来たらと気持ちを新たにしました。二次会では埼玉メンバー全員が山田会長の部屋に集合して試合の作戦を練る予定でしたが、場が盛り上がりそれどころではありませんでした。その事が影響したのか、大会成績はAチーム30位、Bチーム25位の結果にとどまりましたが、チーム全員が本当に楽しむことが出来た大会でした。大会前日の総会・懇親会、大会前準備、当日の大会運営等々本部役員・滋賀県ディスコン協会の皆様方のご苦労に対し深謝申し上げます。

勝負事に「たれば」は禁物ですが、Bチームの「3分け」はほんの少しで全て勝てた試合でした。残念!! 帰路の新幹線でも勿論、大会・その他の話題等でおおいに盛り上がりました。

会員の皆様方、各種の「大会」(支部・県・全国)に積極的にご参加くださいますようお願い申し上げます。



【試合開始前の集合写真（当協会ホームページより）】

【第6号】県大会特集

第17回埼玉県デイスコン大会結果報告

開催日時：令和6年11月17日（日）13：00～16：30

開催場所：横瀬町スポーツ交流館（横瀬小学校体育館）

参加チーム：21チーム（1チーム3名編成、2名は不可）

参加人数：競技者63名、スタッフ9名、合計72名

参加費：一人500円（当日支部ごとに徴収）

大会開催要項：名簿、タイムスケジュール、組合せ表などは参加者全員に事前配布。

会場設営：コートは横瀬支部会員により、ラインテープを使用し7面（5m×10m）を設置しました。投盤ラインとエンドラインの両サイドに三角コーンも設置。

また、全日本デイスコン交流協議会の公式ルールブック一部変更に伴い、エンドライン外側に無効デイス保管ラインを設定しました。

得点表（A3サイズ、署名欄付き）は、ベニヤ板を椅子の上に置き掲示しました。

競技方法：予め本部が作成した組合せ、コート割りに従い、全チーム合計4試合を実施。1コートに3チームが入って、各チーム2試合と審判を行い（主審不在チームについては、コート担当のスタッフが主審を担当）、コートを移動して後半戦の2試合を行いました。

1試合12分の時間制で7点先取。試合結果は勝点制で勝ち3点、引分けは1点、負けは0点とし、4試合合計で勝点と同じ場合は得点の多い順、勝点・得点も同じ場合は失点の少ない順で順位を決定しました。

大会趣旨：①日頃の練習の成果を発揮する場として、またデイスコン愛好者同士の交流の場として1年に1回デイスコン仲間が一堂に会して順位を競います。

②この大会は第37回埼玉県民総合スポーツ大会の一部として位置づけられ、上位3チームに対し埼玉県知事の表彰状が県から交付され、また、埼玉県レクリエーション協会から3万円の補助金が支給されました。

③県大会の会場は主に上尾スポーツ総合センターを利用していますが、今回は秩父で1泊して翌日研修会を行うこととし、5年前に続き横瀬で2回目の開催となりました。

参加チーム：横瀬町7チーム、さいたま市4チーム、上尾市4チーム（うち2チームは主審不在）、川口市3チーム、所沢市2チーム、川越市1チーム、の合計21チームが参加しました。

開会式： チーム番号順に整列して、松本事務局長の開会宣言で始まり、山田会長から、今大会の開催に当って、横瀬支部の事前準備、来賓としてお出で頂いた井上横瀬町副町長とアトラクション参加の下郷東太鼓連に対して謝意が表明されました。

井上副町長からは、ディスコンを通じて健康と仲間づくりに今後も取り組んで下さいとの激励の挨拶を頂きました。

前回優勝の上尾2チームの興石キャプテンから優勝カップが返還され、前回準優勝の横瀬Aチームの村上キャプテンから力強い選手宣誓がありました。

続いて磯副会長から競技方法について説明があり、今大会のルールは、全日本ディスコン交流協議会発行の公式ルールブック（改訂版）のルールを採用し、キャプテン及び2番3番の投盤順は本大会中変更できないことや、試合開始時間に選手が揃わない場合の規定等の説明がありました。

アトラクション：最初に横瀬支部の女性を中心に、下郷東太鼓連のお囃子に合わせて秩父音頭を踊りました。大勢の方々にも加わって頂き大いに盛り上がりました。続いて、太鼓連メンバーによる豪壮な祭り囃子の演奏があり、大きな拍手が沸き上がりました。

試合： 準備体操の後、各コートに分かれて試合を行いました。試合開始と終了は、フォイスフルに従い全コート一斉としました。

表彰式： 集計担当の芦田氏から成績発表があり、山田会長から賞品等が授与されました。

上位入賞：優勝 上尾1チーム（3勝1引き分け・勝点10、得点24、失点6）

優勝チームには、優勝カップ・個人別県知事賞状・賞品が授与されました。

準優勝 横瀬Dチーム（3勝1敗・勝点9、得点24、失点9）

第3位 上尾4チーム（3勝1敗・勝点9、得点21、失点9）

賞品授与：上位3チームの他に5位、7位、10位、15位の飛び賞とブービー賞が授与され、また、全員に参加賞が渡されました。なお、各チームに試合結果集計表が配布されました。

閉会宣言：町田副会長から閉会の挨拶があり、集合写真を撮り散会しました。



この後、宿泊者は送迎バスとマイカーに分乗し、両神荘に向いました。

（当協会ホームページより）

第17回埼玉県ディスコン大会 in 横瀬に参加して

上尾支部長 江藤 雄二

今回の埼玉県ディスコン大会は横瀬で開催するというので、人集めと交通手段の問題を解決するため、チーム数から取り組み4チームに決定しました。交通手段はマイカーで向かうよう計画しましたが、混雑時の対応等問題点が多く、最終的に安全なマイクロバスを使用することにし、みんな一緒に旅行気分に参加しました。

上尾支部は前回優勝したので、今回もメンバーを絞り、ある程度上位に食い込める編成にして臨みました。結果として優勝と3位、それから飛び賞までいただき、前回大会と同等の成績を上げることができました。帰りはバスの中で反省したり試合中の自慢話で盛り上がり、美味しい酒を飲んで祝杯を挙げ、大変楽しい大会でした。これからも健康と親睦をもって、明るく楽しく活動を行ってまいります。

この大会の関係者並びに横瀬の皆さんありがとうございました。



【優勝 上尾1チーム】



【第3位 上尾4チーム】

埼玉県ディスコン交流大会・研修会に参加して

川口支部 小島 佳代子

秩父の紅葉シーズンに合わせて、本大会の開催ありがとうございました。アトラクション参加の地元の下郷東太鼓連【写真】による勇壮な演舞は気合い注入でしょうか、間近かでの響きは圧巻でした。私は初の主審体験で緊張し心もとない状況でしたが、チームメンバーの優しさに助けられて無事に役目を果たせました。また、対戦するチーム、観戦・応援するチームそれぞれから勝ちに拘わる姿勢と熱意、楽しみ方を学び体感しました。エンドラインに設置された三角コーンもお見事！

川口支部では日頃から大会形式に沿って練習会を行っており、全員が各役割を体験していま



す。支部長の熱い指導の下、褒め上手にも乗せられ初めての参加でしたが、スムーズに行動出来たと思います。翌日のレベルアップ研修会では新米インストラクターとして有意義な気付きが多く得られた機会でした。新ルールの習得と声出し等は基本からの学習です。ディスクの投盤方法など、楽しくも奥の深いゲーム・スポーツであると再認識致しました。今後も楽しむ事を第一に、健康増進とシニア交流を目指して技術向上努力を続けます。

大会役員の方々、横瀬支部の皆様、参加者全員に心より感謝申し上げます。

合宿親睦研修会

横瀬支部長 町田 昇

今回久々に第17回埼玉県ディスコン大会翌日の2024年11月18日に両神荘に於いて、合宿親睦会と研修会を開催できたことは、大変良かったと思っております。(前回開催は第12回県大会2019年5月26日)

両神荘は体育館も併設した宿泊所であり、泊って朝から練習会・講義などを皆様と一緒にできたことや、各支部に帰ってからのやり方などのご理解をいただけたことが良かったと思っています。

事前の準備は、体育館の見学もできずフロントでの打ち合わせのみでした。当日朝8時に体育館に集合してコート作り、一応は頭に入ってはいましたが、3コートを作成。テーブルもどうすれば不足しないかを工夫して作りました。

前半は、個人の投盤技術を競う3種類のゲームが始まりました。最初は何のゲームをやっているのかわからず頭をひねっているうち理解が出来ました。後半は、通常の団体戦を行いました。進行状況を見ていましたら、皆さん楽しんでゲームが出来ていることは良かったのではないかと思います。

9時から始めて11時30分位には片付けが終わり、その後昼食を兼ねた反省会が行われました。12時30分に現地解散となり、楽しく有意義な合宿親睦研修会となりました。

【第6号】県レク行事

埼玉県レクリエーション大会 in さいたま結果報告

さいたま支部長 金森クニ子

令和6年10月27日(日)令和6年度埼玉県レクリエーション大会 in さいたま兼第23回さいたま市レクリエーションフェスティバルが、プラザウエストさくらホールで総合開会式が行われ、午後から4会場に分かれて22種目の種目別交歓会が展開されました。開会式では当協会の優良団体表彰がありました。

当日私は実行委員で裏方担当だった為、開会式出席希望者に表彰授与をお願いしました。午後のディスコン体験では本部・川口支部の応援のもと、会員19名で多くの親子連れの対応に追われ、賑や

かに楽しく怪我もなく無事終了する事ができました。皆様のご協力に感謝いたします。

平成19年にディスコンと出会ってから、さいたま市にぜひディスコンを普及させたい一心で様々な活動に取り組み今日に至っております。団体表彰を機に会員の皆さんと感動と喜びを分かち合いたいと思います。

「継続は力なり」これからもみんな元気で楽しく頑張りましょう♥



【第6号】インストラクター認定研修

第34回ディスコンインストラクター認定研修会に参加して

所沢支部 桑原 恵美子

私とディスコンの出会いは、友達に声をかけていただいたことです。何でもよいのでチャレンジできる事、また運動もできればと思っていたところ紹介されたディスコン競技は私にもできるのではないかと思います。実際に体験してみると、ポイントに近づけるようにディスクを投げることや、ディスク同士がぶつかる事により思いがけない展開となりハラハラドキドキのゲームになっていくところが非常に面白いと感じました。気が付けば体験教室などの参加も1年続いておりました。

ディスコンを始めて1年程経った時にインストラクター認定研修会のお話があり参加いたしました。1日を通してディスコンの歴史、ルール、実技、審判の勉強をしました。知れば知るほど「奥深い競技」だと思い参加してとても良かったです。資格習得後の審判活動はいつも緊張して反省ばかりですが、回数を重ねることで審判も楽しいという風になればよいと思っています。私はいつも楽しく過ごすことを心がけています。一緒に活動している皆さんとの出会いに感謝し、健康に気を付けてこれからも活動をしていきたいと思っています。



【投稿者は前列右から3番目】

第35回ディスコンインストラクター認定研修会に参加して

川口支部 泉 みさ子 森田 久子

2025年7月6日（日）所沢市民体育館の2階会議室で行われた第35回インストラクター認定研修会は、山田会長の開会挨拶で始まりました。午前中は、インストラクターの役割・公式基本ルール・コートの設営等及び投法と戦術の講義でした。昼食を挟み午後は審判の実技演習、その後は健康増進と指導者の心得について学習しました。座学で教えて頂く機会がなかなか無いので、大変良い有意義な学びでした。認定研修を受講して感じた事は、公式ルールを正しく理解した上で、それぞれの地域の実情に合ったローカルルールで楽しくゲームをする事が大切だということです。

実技演習では全員が主審・副審・得点係の役割を体験しました。皆、和気あいあいとした空気感で、指導役員や他の役員の方々からも「ナイス!!」「おいしい!!」との掛け声をして頂き、チームメンバーは拍手やハイタッチで盛り上がり、緊張感も和らぎとても楽しい演習でした。最後に、審判団の声が小さいとの注意・助言がありましたので、今後、審判の役割の際には気を付けたいと思います。筆記試験の後で、間違いの多い項目や回答合わせ等の説明を受け、認識を新たにしました。

無事に研修修了し、認定証が授与され帰宅後に、川口支部長より『楽しく元気に、仲間の失敗も笑いに変え皆で楽しみましょう』とお祝いのメールを頂きました。“失敗も笑いに変える”そんな風にディスコンを楽しみ長く続け、技術向上を目指し、更に多くの仲間が集う場になるよう努力したいと思います。

第35回ディスコンインストラクター認定研修会に参加して

所沢支部 関 憲正

私がディスコンを知ったのは、福祉サークル「なないろの会」に誘われ赤青のディスクを触ったのが初めてでした。月いちの練習でルールも良く判らず大会に参加しましたが、ゲームは白熱の試合となり楽しい経験でした。今回、第35回認定研修会が所沢市民体育館で開催される機会があり、ディスコンを楽しむにはルールを知り、チームワークの良さを知るのが必要と参加させて頂きました。

研修会には人生経験を重ねた高齢者が大勢集まり、ルールと実技研修を一日かけ受講し試験は全員が合格でした。講師の丁寧で真剣な指導のおかげと感謝しています。私は25問の難問テストのせいか、缶詰研修のせいか、後期高齢者運転免許の認知症検査より大変疲れました。

今回の研修で、改めてディスコンはルールがシンプルで体力の有無を問わず誰もが楽しめること、特に高齢者にとっては身体機能の維持や認知症予防につながる素晴らしい魅力のあるスポーツであることを認識しました。まだディスコンは全国に名前が浸透しておらず、一部地域で活発に活動されている状況ですので、全国普及にはルール統一が必要とも感じました。

今回の合格をスタート地点と捉え、今後は多くの方々にディスコンの魅力を伝えたいと思います。



【投稿者は前列の左から3番目（泉氏）、右から2番目（森田氏）左から4番目（関氏）】

【第6号】支部便り

ディスコンさいたま15周年記念・表彰受賞記念親睦旅行

さいたま支部 石田 みさ子

令和6年12月2～3日、会員13名参加の下、静岡沼津温泉に出発しました。ホテルでは角部屋越しに一面雪を被った真っ白な大きな富士山が私たちを出迎えてくれました。宴会前の海岸散策では駿河湾に沈む夕日がすばらしかったです。いよいよ待ちに待った宴会が始まります。11月「県レク



大会 in さいたま」で優良団体表彰があつて、受賞のお祝いも重なり数々のご馳走が！中でも尾頭付き金目鯛の煮付けにはみんな驚きと美味しさに夢中でむさぼりつきました。

そんな中、毎月の予定表を作ってくださる長澤さんの誕生日で傘寿のバースデーケーキのサプライズもあり、喜び溢れた楽しい宴会をすごしました。そして星降る夜空の素晴らしさに感無量を覚えながら眠りにつきました。2日目、沼津港の観光船に乗り青空と富士山の景色を目に焼き付けながらカモメの餌やり思わず興奮してしまいました。昼食は言わずと知れた海鮮寿司の美味しかったこと！！お陰様でみんな楽しめた思い出深い盛大なダブルお祝いの記念旅行でした。

支部長はじめ幹事さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。これからも健康に氣をつけてがんばりたいと思います。

横瀬支部便り

横瀬支部 新井 恵美子

私はディスコンに入会して1年になり、7月にはインストラクター研修も受講しました。

横瀬支部では月3～4回毎週木曜日の9時～12時に、芦ヶ久保駅近くの活性化センターで練習会を行っております。この夏場は猛暑でしたがエアコンがあり、汗をあまりかくことがなく、楽しく練習が出来ました。コートも専用で常設されており、使用料が無料なのが一番良い点です。ただし、先輩インストラクターの話では、床がコンクリートの上にビニールタイルを張っただけなので、ディスクがすぐに欠けたりしてしまうのが難点だそうです。

直近の活動としては、秩父市役所が主催してディスコンの体験教室を開くことになり、当面の間、横瀬支部が運営・指導等を行っています。県北地区の他の市町村にもディスコン愛好者を増やしていきたいと考えています。

川口支部発足当時を振り返って・支部設立10周年に寄せて

川口支部長 伊藤 はま子

ディスコン川口支部は、平成26年（2014）4月1日並木公民館を主会場として発足しました。

1. 支部発足・現在までの経緯

- ① 当時、ディスコン同好会は、2013年12月20日有志（川口市盛人大学ボランティアコース卒業生の活動）により、地域のボランティア活動だけではなく、交流の場の一環として設立。
- ② ボランティア活動以外に、定期的に健康維持の為にレクリエーションとしてこの軽スポーツに魅了された事、又他支部チームとの交流や県大会に参加する為には同好会で無く、支部設立、及び協会への加入が必要である事を知る。そこで、埼玉県ディスコン協会員で、ディスコンを川口で広め活動されていた元柏氏（後に初代支部長）へ支部設立希望の旨を相談。会員を10名以上集められたら可能との事で、ボランティア仲間は即賛同した。
- ③ 県本部役員及び他支部会員の応援を頂き、急遽2014年3月、川口支部設立に向け大会を開催。10年前を振り返れば大会開催までのイ・ロ・ハも知らず、支部設立したい一心で無我夢中で準備。大会終了後、支部設立の祝賀会は立派な会場で盛大に開催。そのためか会計の場で

大赤字に茫然自失。その後の赤字処理に難儀した事は今でも苦い思い出です。財源はマイナスからの出発であり、当初はディスコンのセットも無く、同好会から借用。又、ボランティア仲間からの寄贈に助けられ、備品は経費節減の為に全て手作り作業の日々でした。

④ 財源の準備がない設立ですから、当面は誰かが赤字を背負わざるを得ず、伊藤が当面背負わざるを得ない状況でした。赤字は4年位で解消。ディスコン愛好家の会員のご協力と、徐々に会員数増（総会員数45名＝2024年12月末現在）により現在はお陰様で黒字運営の状況です。

⑤ 設立当初から数年は、他支部への交流大会・県大会・イベント・全国大会等への参加費用は全て自己負担。費用の一部分でも補助があったなら？…との思いを受け役員会を経て総会へ提案。結果、提案事項は会員の賛同が得られ承認決定。会員皆様の理解ある活動成果と受け止めています。この事は今後も検討の余地は有と考えています。世代交代は必然です。次世代への引継ぎの準備中ですが、会員皆様のご協力が不可欠です。

⑥ 歴代の会計担当者の方々には数年間赤字会計で、心労をお掛けした事をお詫び申し上げます。

2. 地区設立により練習会場が増加

①上青木地区設立：2018年6月 初代代表者 松山 昇さん

会場は上青木公民館（会員数 10名）

②元郷地区設立：2018年10月 初代代表者 佐久間清さん（2024年度末迄）の後、
2025年4月から櫻井光子さんへ代表交代。会場は元郷青少年センター

③公民館事業への協力：体験教室2回開催、その後4ヶ月間ボランティア活動を月1回開催

第12回所沢オープンディスコン大会開催

所沢支部長 磯 竹栄

去る3月27日（水）13：00～17：00 所沢市こどもと福祉の未来館 体育館において、20チーム（60名）、及びスタッフ10名、合計：70名が参加し、盛大に開催されました。大会内容、競技の詳細については、以下の通りです。

●参加チーム

＊所沢市内：ふれあい会 A・B・C、さわやか会 A・B、ときめき A・B、本部、宮本町 A・B、
なないろの会、新所沢 A・B・C・D・E

＊市外：川越霞ディスコン A・B、川越ディスコン A・B

●競技方法

コート5面、各コートに4チームが入り、時間制（12分＋3分インターバル、7点先取）により、コート毎にリーグ戦を行い、総合成績の結果、順位を決定しました。

●表彰：優勝、準優勝、3位、飛び賞を表彰しました

●競技スケジュール

13：20～13：50 受付

13：50～14：00 あいさつ 所沢市ディスコン協会・磯
竹栄会長、県ディスコン協会・山田 武会長

14：00～14：20 競技概要の説明、および進め方⇒磯、

14：20～14：30 準備体操⇒塩野谷守夫



熱戦が展開された競技風景

14：30～14：40 試投⇒各コートに分かれ行こう

14：40～16：20 試合

16：30～16：40 成績発表、表彰式、記念撮影

16：40～16：55 閉会あいさつ、解散

●成績は次の通りです。

- ・優勝：川越霞ディスコン A（加藤 光一、野中 たくみ、鈴木 義輝）
- ・2位：ふれあい会 C（芦田 政芳、牧野 好孝、野網 陽二郎）
- ・3位：新所沢 D（新井田 洋子、梅沢 ウタ子、池田 美知子）

この度の大会は、当日の欠席もなく、予定のタイムスパン通りに、進行できました。参加者同士の交流が図れ、多くの方々が、楽しさ、面白さを実感して頂きました。ファインプレーには、拍手、珍プレーには爆笑が飛び交う等、大変盛り上がりました。今後、ユニバーサルスポーツとして、振興普及に努め、多くの参加を期待し、継続的開催をして行きたいと思います。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



終了後・選手とスタッフ集合写真

編集後記

県協会監事 佐野 重信

今年の夏はうだるような猛暑日が続きました。会員の皆様にはいかが過ごされたでしょうか。ディスコンは室内競技ですので、各支部での大会や月例行事も滞りなく実施されたことでしょう。「ディスコン通信・彩の国」も第6号発行となり、記事内容も支部からの報告や会員からの大会参加感想など沢山盛り込んでいき、皆さんからの身近な情報の共有化を図ってきました。

山田会長の巻頭言（「85歳の壁」を想う）を読まれてどう思われましたか？内容はまさに自分自身のことだと感じた方もいらっしゃるでしょう。しかしながら、人生百年これにめげず体を動かしてディスコンの普及と地域のつながりをめざして頑張りましょう！！

発行責任者：埼玉県ディスコン協会 会長 山田 武

編集責任者 同事務局長 松本 元伸

URL: <http://www.saitama-discon.jp/>